

## 新年あけましておめでとうございます

新年、明けましておめでとうございます。連合和歌山に集う組合員と、ご家族の皆様にあかれましては、健やかに新年をお迎えの事とお慶びを申し上げます。

また、旧年中は連合和歌山の諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。衷心より御礼を申し上げます。

さて、本年は元号が「令和」に変わって、初めて迎える新年であり、連合の運動年度でいうと、連合和歌山が結成して30年の節目の年でもあります。

そして、十二支（じゅうにし）は、始まりの「子（ねずみ）」の年で、干支（えと）は「庚（かのえ）」の年という事になりますが、実は我々が普段使っている干支は、十二支の事を言っており、文字通り12種類ありますし、干支は「甲（きのえ）」から始まって10種類あり、この組み合わせが60種類ある事から、全ての年を経験すると、めでたく還暦という事になります。

では、今年の組み合わせがどの様になっているのか見てみますと、「庚・子（かのえ・ね）」の年であり、「庚」は「終わり・改める」を意味し、「子」は「始まり・増える」という意味があるそうです。

まさに、今年は「平成」が終わり、「令和」がスタートするにあたり、打って付けの年という事が言えますし、連合和歌山は結成30年の節目を機に、これまでの歴史と運動を振り返り、新たな運動をスタートするに、相応しい年という事になります。

その為には、我々が直面する課題と真摯に向き合い、今の時代に相応しい、そして将来を見据えた運動を展開すべく、その基軸となる「礎」を構築する為の、大切な1年という位置付けにしなければなりません。

引き続き、連合和歌山に集う3万組合員の皆さんと心をつなぐに、新たな運動にチャレンジして参りたいと思います。

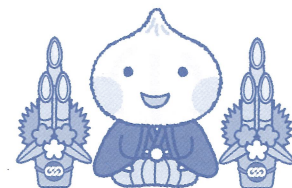
是非、ご理解とご協力を賜ります様お願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。共に頑張りましょう。



連合和歌山会長  
池田 祐輔

2020年1月 連合和歌山 会長 池田 祐輔

本年もよろしくお祈りします。

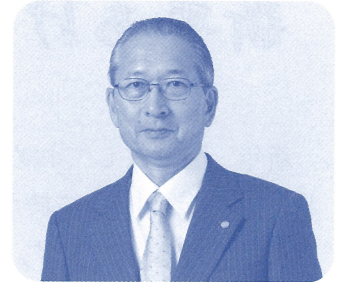


## 労働組合が不可欠

### ～集団的労使関係の確立・拡大で「私たちが未来を変える」～

新年明けましておめでとうございます。連合運動に対する日頃のご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

多くの困難や課題を乗り越えて連合が結成されてから30年が経過いたしました。この間、様々な成果をあげた一方、格差の拡大や将来不安など、時代が変化する中で残された課題も少なくありません。さらに今後は、人口構造や産業構造の変化、技術革新など、予測の難しい変化の波に対応していくことが求められます。



連合会長 神津里季生

働く者・生活者を取り巻く様々な課題を克服していくうえで、集団的労使関係の確立と拡大が何より重要であることを強調します。労働組合があつてはじめて集団的労使関係が生まれ、働く者の主張が形を伴い、権利が保障され、生活が守られ、やりがいと希望をもって働き続けられる環境の整備につながるのです。

長時間労働の是正や、適切な36協定の締結、「同一労働同一賃金」などの「働き方改革」は、職場で働く仲間の声を反映するために、労使の徹底した話し合いによる諸制度の適切な運用・見直しを通じて、本当の意味で働く者のための「働き方改革」とすることが不可欠です。短時間・有期・派遣等の雇用形態で働く仲間の処遇改善は、労働組合の存在なくして改善は困難です。春季生活闘争については、これまで以上に「水準」を重視した取り組みを引き継ぎつつ、「分配構造の転換につながり得る賃上げ」をめざし、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みを再定義して、組織の内外に賃上げのうねりを広げ、社会全体のものとしていくことが重要です。また、働くかたちそのものが大きく多様化している今日、集団的労使関係の確立と拡大を社会の隅々まで広げ、いわゆる「曖昧な雇用」で働く人も一緒に労働組合に集えるようにすることが重要です。

すべての取り組みの土台は、労働組合、集団的労使関係の確立と拡大です。連合は、「1000万連合」実現への取り組みを加速していくとともに、諸先輩方が培い積み重ねてきた志の重みを心に、これからの時代に相応しい「まもる・つなぐ・創り出す」運動を力強く牽引してまいります。

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、すべての働く者・生活者の先頭に立ち社会に広がりのある運動をともに作りだしていこうではありませんか。

### 「私たちが未来を変える」

本年も、連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。

2020年1月 連合（日本労働組合総連合会）会長 神津 里季生



## 連合和歌山結成30周年

### 「記念講演会」、「記念式典・レセプション」を開催

2019年12月19日（木）和歌山市「ホテルグランヴィア和歌山」において、連合和歌山結成30周年「記念講演」、「記念式典、レセプション」を開催しました。

記念講演会は、慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授の岸博幸氏をお招きし、「政治の混迷と日本経済の展望」と題した内容で行いました。

記念式典・レセプションについては、冒頭、池田会長の挨拶の後、ご来賓の方々からご挨拶をいただきました。

- ・仁坂 吉伸 和歌山県知事
- ・岸本 周平 国民民主党和歌山県連代表
- ・谷口 和樹 立憲民主党和歌山県連代表
- ・長坂 隆司 連合和歌山地方議員団会議議長
- ・杉谷 憲司 こくみん共済 coop 和歌山推進本部本部長
- ・西本 哲夫 和歌山退職者連合会長

そして、鏡開き・瀧本元会長の発声による乾杯後、マグロの解体ショーや福引き抽選会などが行われ、最後に長田会長代行による一本締めで閉会しました。

この記念行事に来賓・構成組織からの参加者を含めて約320人が参加しました。



▲池田会長挨拶の様子



▲記念講演会の様子



▲鏡開きの様子



▲マグロの解体ショーの様子



▲福引抽選会の様子



## 全国一斉労働相談周知のための街頭行動を実施

2019年12月6日(金)「JR和歌山駅前」において、12月12日～13日に行われた全国一斉労働相談キャンペーン「STOP長時間労働！」周知のための街頭行動を行いました。

街頭行動では、啓発チラシ入りのポケットティッシュを通行している方に配布しました。



▲街頭行動の様子



▲街頭行動の様子

## 12月全国一斉労働相談を実施

2019年12月12日(木)～13日(金)にかけて、12月全国一斉労働相談キャンペーン「STOP長時間労働！」を実施しました。

10時～19時の間、各地域協議会の事務局長にも電話対応者として待機いただき、様々な相談に対応していただきました。



▲労働相談の様子

## 連合和歌山賃金学習会を開催

2019年12月11日(水)和歌山市「ビッグ愛」において、賃金学習会を開催しました。

冒頭、主催者を代表して連合和歌山の香西副会長より挨拶があり、その後「連合2020春季生活闘争方針と中小労組の取り組みについて」と題し、連合本部総合政策推進局の富田珠代総局長からご講演をいただきました。

①至近の情勢認識②2020春闘の意義と目的、③具体的要求内容などについて説明がありました。



▲学習会の様子